



もも生産者大会（7/9）講演会内容決定！

7月9日（月）に開催される「もも生産者大会(販売推進大会)」の第2部「講演会」の詳細が決定しました。貴重な情報を得るチャンスですので、お誘い合せの上、ご参加をお願いします。（講演会は17時頃～開始予定）

①『桃が枯れるのはなぜか？』

長野県果樹試験場 栽培部 岡沢研究員

本年、落花期以降の枯死が散見されており、ここ3年間の中で一番枯れている状況です。
何が原因なのか？台木？管理？対策は？

枯死が散見されている方は、ぜひご参加ください。



②『高品質な桃づくり』

全国モモ研究大会 2016in 長野 視察会場
園主：北村文治 氏（長野市真島町）

全国大会の会場になった北村さんの園地は、早期多収と品質安定がウリの【大藤流仕立て】が導入されています。

「儲かる」桃づくりの秘訣を聞くチャンス！

③『全国モモ研究大会 2018in 和歌山 参加報告』

園芸課 原澤技術員

2年に1回開催されている、桃の全国大会に参加して他産地の情報を仕入れました。

せん孔病は寒い地域の病害？いや、違う。和歌山県でも発生していた！この他、品種構成、樹形、果実袋など、大会で得た情報をお繋ぎします！



次頁も必ずご覧ください。（りんご 重要なお知らせ）

松本地域で黒星病 DMI 剤耐性が発生

すでにメディア等で報道されていますが、松本地域で黒星病 DMI 剤耐性菌（変異菌）が発生しました。発生の経過等は先週付けで配布した「リンゴ黒星病 DMI 剤耐性菌発生」に関する文書（長野県発行）に記載されている通りですが、発生は、昨年秋以降、県外から導入した苗木が原因であるとされています。尚、JA 中野市管内では、今のところ発生原因とされる苗木導入及び現地での耐性菌発生はありませんが、当面の間は注視ください。尚、昨年秋以降に県外から苗木を購入し、今現在、苗木に黒星病が多発している症状が確認された場合は、至急園芸課担当までご連絡ください。詳しくは「リンゴ黒星病 DMI 剤耐性菌発生」についての文書をお読みください。また、不明な点は担当までお問い合わせください。

例：こんな症状が確認されたら… ＊被害症状の写真はリンゴ黒星病 DMI 剤耐性菌発生の文書掲載

- ① 昨年秋に県外からりんごのわい化苗を購入し定植したところ、5 月に入り、その苗木の葉に大量に黒星病と思わしき症状が多発している。
- ② 昨年秋に県外から購入したりんごわい化苗から穂木を採取し、接ぎ木したところ、5 月に入り、その周辺に黒星病が突発的に多発している。

管内でも、黒星病が散見されていますが、現状では果実被害は最小限に留まっている状況です。黒星病は真夏には一旦感染が停滞しますが、温度が低下する秋以降再び葉への感染が活発化し、次年度の病原となります。ついては、下記を参考にして対策を講じてください。

【主な対策】

- ① 程度がひどい被害果は摘果でできるだけ除去する
- ② 被害葉を早めに除去し、園外へ持ち出し、焼却・土中埋没・攪拌等の処理する
- ③ 被害落葉はできるだけ拾い集めて、焼却・土中埋没・攪拌等の処理する
- ④ 次年度向けて薬液の通りやすい環境を整備（徒長枝除去等）

今年も部会・JA との共同で、百年ふじ・シナノリップ等の 2 年生苗木（大苗）を養成中です。順調に生育しており、この秋には良品質な苗木が供給できる見込みです。注文書は 9/14 付けで配布予定です。部会方針『百年ふじの里構築』へむけ皆様のご積極的な導入をお願いします。

現在、部会を通じて、もも用反射資材「タイベック」等の注文を取りまとめています。JA 農業振興開発事業を活用して購入金額に対して税抜き 10%以内の助成を予定しています。また、りんご用注文書も 8/17 付けで配布する予定です。この機会に皆様のご注文をお願いします。

昨年秋に導入を開始した、部会オリジナルの果樹支柱（帆柱）ですが、各地で設置が始まり、若木を中心とした早期樹形確立に大いに貢献しています。今年も部会を通じて果樹支柱の注文を取りまとめます。JA 農業振興開発事業を活用して税抜き 20%以内の助成も予定しています。注文書は秋に配布します。今しばらくお待ちください。